



©Bariston

出：愛知県東海市公式サイト

## 地方創生にかかわる中小企業の役割

# 日本地域創生学会 研究大会報告① 「歴史にみる地域創生」とは



静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロウ株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

Human Delight株式会社 代表取締役社長  
野田 万起子 のだ まきこ

2018年8月25日、愛知県は東海市にて日本地域創生学会の総会が行われました。2017年8月26日に設立された当学会の1年間は全国7つの支部での人材育成、地域創生の研究・事例発表と多岐に渡ってきました。設立から2回目の総会は、これらの活動を全国で共有し、地方創生に志を持つ方々の更なる活動に向けての大きな原動力に繋がったのではないのでしょうか。

### 東海市出身の偉人 細井平洲先生の教えに学ぶ

去る8月25日、愛知県東海市の東海市芸術劇場でその総会は開催されました。東海市は愛知県知多半島の西北部に位置し、人口は約11万4千人の都市です。実は、電車で20分圏内に中部国際空港（セントレア）があるため、アジアを中心として北米・ヨーロッパなどを結び、交流が多いことも地域の特色であります。また、名古屋南部臨海工業地帯の一角を形成していることから、新日鐵住金の名古屋製鉄所をはじめとする中部圏最大の鉄鋼基地を擁し「鉄鋼のまち」として知られています。

今回、地域創生学会の総会がこの東海市で開催された理由は「東海市の偉人、細井平洲」の生まれの地であることが大きな理由でありました。ご存知の方も多いと思いますが、平洲先生は尾張藩の学校教育や社会教育に大きな影響を与えた学者です。（名君とたたえられた米沢藩主の上杉治憲（鷹山）公の先生として有名です。）

「学（がく）、思（し）、行（こう）、相須（あいま）つ」は、平洲先生の有名な言葉ですが、その意味は「学び、考え、実行することが三つそろって、初めて分ほど物知りな者はいないなどと誇り、他人を見下す行い」であって「人と人との交わりにあつては、この思い上がりの気持ちをなくして、譲り合う気持ちをもてば、お互いの心が通じ合い、物事もうまく運ぶ」と説いていらつしやいます。

### 「地方創生」に求められる 「人財」の資質に共通する教えとは

本コーナーの6月号に「今求められる地域のリーダー像」として、必要な役割を果たすために求められる「人財の資質」に関して寄稿いたしました。その内容の一つが以下の通りです。

「真心・恕（思いやり）・志。例えば「恕」は相手の立場や心情を察し、思いやり、行動に移すこと、そして許すことである。人として信頼されるためにも、真心・恕・志が必要である」です。大変未熟である私自身、先人の教えに無知であることを恥ずかしく思うのですが、偉大なる先人から教えられていることを痛感し、確信した次第です。これからの日本を考えますと、政治もビジネスもスポーツも、あらゆる業界における成功者、そしてリーダーの資質の根本がここにあると思います。自分自身が一人称と捉え、行動していきたいと思う次第です。

さて、先般行われた日本地域創生学会研究大会においては、「行政」「経済」「社会」をテーマに分科会が開かれました。冒頭に申し上げましたように、その活動事例は是非とも次号よりご紹介させて頂きたいと思っております。

て学んだことになる」という教えです。

### 「歴史にみる地域創生」 地域貢献の根本はヒューマニズム

研究大会の基調講演で、歴史小説家の童門冬二氏のお話を拝聴しました。童門先生の作品「小説 西郷隆盛」「細井平洲の経済学『櫻鳴館遺草』に学ぶ」などは歴史小説の真骨頂であります。東京都広報室長、政策室長等を務めたのち、作家活動に専念されるという経歴ながら、御年91歳の現在も全国各地で講演をされていらっしゃる姿にお目にかかれたのは感動そのものでした。

今回の講演のテーマは「歴史にみる地域創生」として、細井平洲の教えの根本をお話いただいたのですが、まるで一本の映画を観ているような錯覚をおこしました。さすが、歴史小説家の大先生であります。

平洲は享保13年（1728年）知多郡平島村（現在の東海市荒尾町）の農家に生まれますが、学問に興味を抱き、京都、長崎などで勉学を積み重ね、学問を通して世のため、人のために役立つ人間になるのだと決めて、学者として国を豊かにし、そこに住む人々が幸せになることを目指しました。名古屋城の頭首の改革を命じられた時のリーダーシップの執り方には、現代のマネジメントにもお手本として通じるころがあります。そして、平洲が教えたことの根本が「恕（じよ）・謙（けん）」にありました。人にとって最も大切なことは「譲る」「相手の思いやる」ことであり、反対に「思い上がり」「相手のことを考えない自分中心の行い」が最も人の道にはずれたことだという教えです。思い上がりとは「自